

チーム「き・わ・み」の報告

1

「京都」「若者」「未来」

頭文字からチーム名を決定

チーム「き・わ・み」

3

3 TEAMS

3つの議題チームが集まり
3つのキーワードでつながる

3 WORDS

2

具体的な対象やテーマで集まったのではないため
それぞれの想いに幅があり、まとまらない

4

テーマ

これから社会に出ようとしている若者を
社会人に、そして京都力になるようサポートする

5

提言・継続議論

若者の抱える課題は多様で、
1年だけ、1回だけでは解決しない
京都の若者について議論する場づくりが必要

7

京都市未来まちづくり100人委員会のキーワード

「提言」「継続議論」「行動」「巻き込み」

6

行動

新しく京都らしい社会認識体験の場づくり
生き方探求館での学生対象事業の試行を計画

8

スチューデントシティへの視察



スチューデントシティ活用に向けて

施設を大学生にも開放するように市に要請中
大学生用のプログラムを検討予定
若者へ協力依頼(企画・運営／体験など)
→きわみメンバーのつながり
(精華・同志社大学などの学生
／京都学生会議所などの学生団体など)

13

「き・わ・み」をプラットフォーム として相互理解の場を提供していきたい

アクションをうまく起こせない受身的な学生・若者に対しても、創造的な思考が楽しく積極的にできる居場所づくり
地域にある既存(ソフト&ハード)コンテンツを集めて再利用し地域全体が協力交流できるコンパクトな体制づくり
課題定義にマッチしたサンプルメニュー企画と試行
社会へ送り出す仕組みや若者の現状ニーズを理解し誰もが簡易に参加できるような実践の場づくり
様々な立場から得る情報提供と活動の実践をサポートする協力者ネットワークづくり

今後のスケジュール

5月6月で調査やプラン形成
7月に確認・決定
8月実施
9月まとめ

14

「き・わ・み」をプラットフォーム として相互理解の場を提供していきたい

